

経営比較分析表（令和6年度決算）

神奈川県藤沢市 藤沢市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	37	対象	透I未訓ガ	救臨が感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
445,041	57,595	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
530	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	536
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
520	-	520

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和6年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は救命救急センター・災害拠点病院・地域医療支援病院などの指定や承認を受けており、湘南東部二次保健医療圏において数多くの医療機能を持ち、地域から必要とされる高度急性期・急性期医療を提供する役割を担っています。
また、地域の基幹病院として、地域医療機関等との連携強化を図り、地域に必要な医療機能の充実に向けて努めています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度は入院延患者数の増加や診療報酬の管理料等算定により診療単価が増となったため、入院収益・外来収益ともに昨年度と比べて増加しました。
費用については、人事院勧告に基づく給与費の増加や昨今の原材料価格の上昇などの影響により診療材料費等の材料費が増加しました。
医療費用の増加により修正医業収支比率は、昨年度に比べて0.7ポイント減少し、新型コロナウイルス感染症に係る補助金が廃止となったことなどにより、昨年度の純損失である617,195千円から1,088,835千円に純損失が増加したため、累積欠損金比率が昨年度と比べて4.3ポイント増加しています。

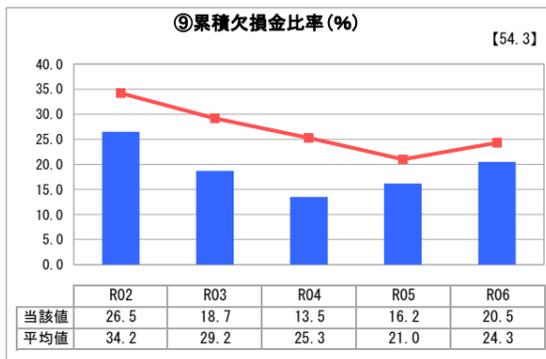
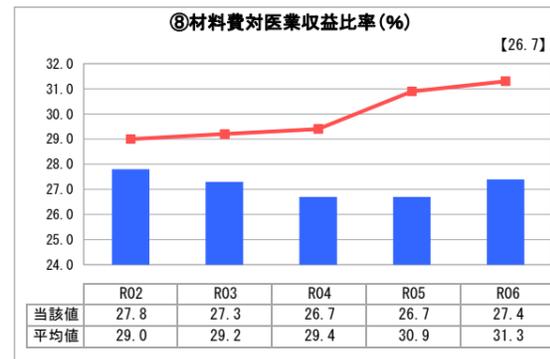
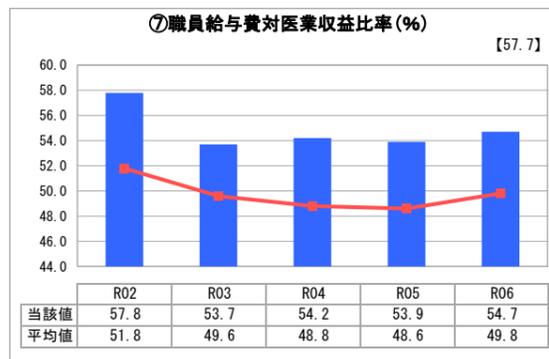
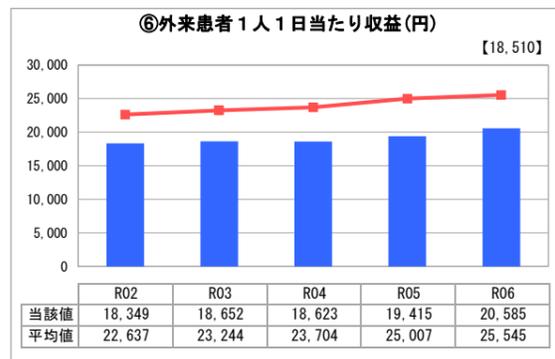
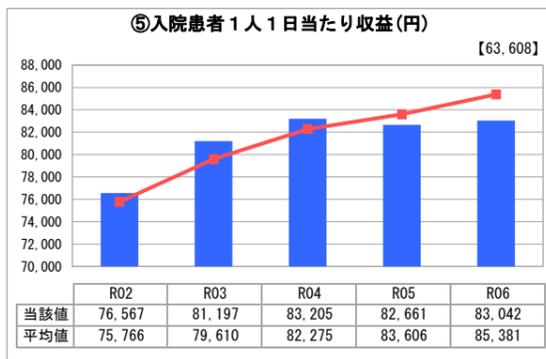
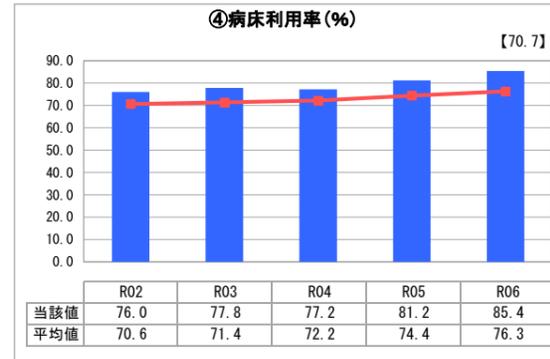
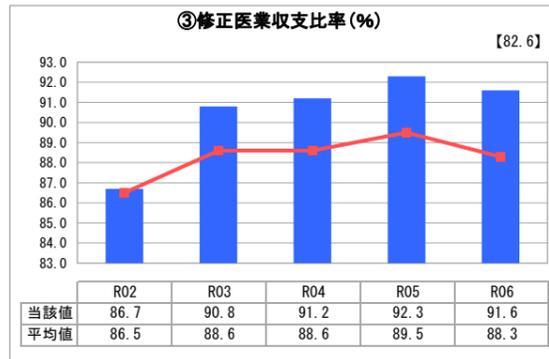
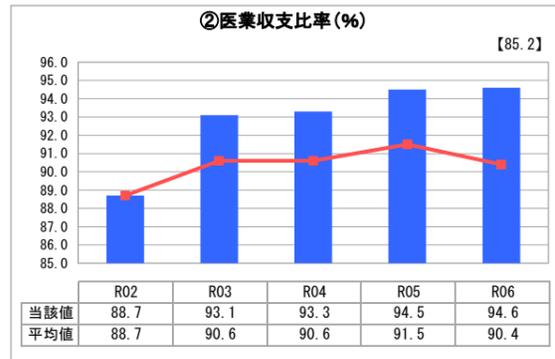
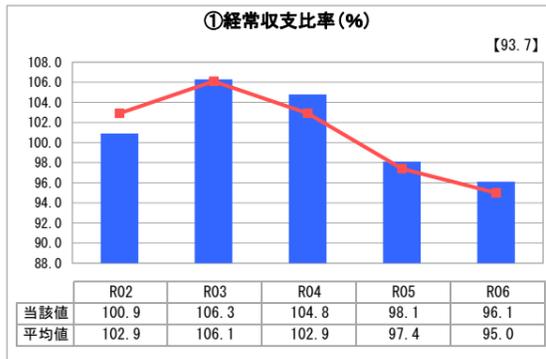
2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については市民病院再整備事業の完了に伴い、年々増加傾向にあります。
②器械備品減価償却率については、平成30年度以降増加傾向にありましたが、令和6年度は、電子カルテシステムハードウェアを更新するなど高額な器械備品等を購入したため昨年度に比べて5.0ポイント減少しております。
今後も医療機器の収益性等も含めて検討し、計画的な機器の更新を行ってまいります。

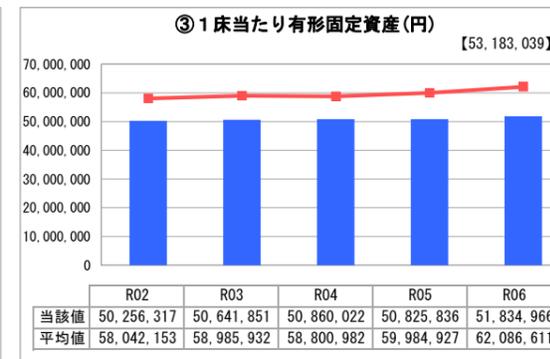
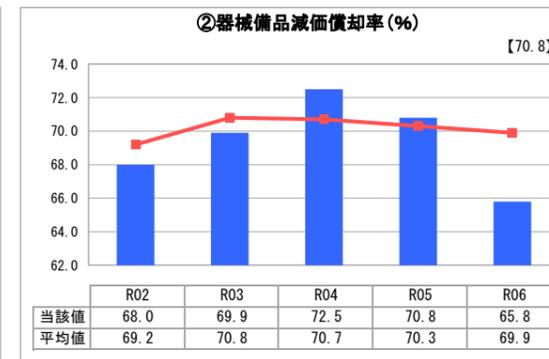
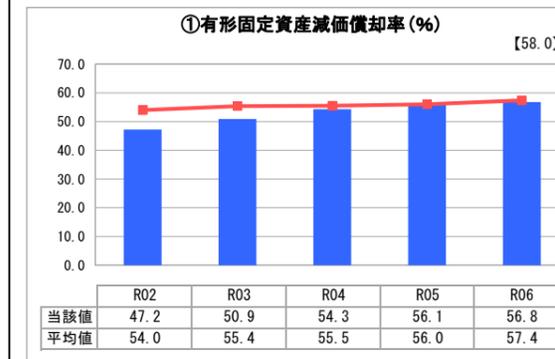
全体総括

入院収益及び外来収益の増加により、医業収益は増加しましたが、人件費の高騰や物価高騰の影響を受け、診療材料等の材料費が増加したことにより純損失を計上しました。
今後の経営状況については、給与費や物価高騰等による材料費等の更なる増加が予想されます。「藤沢市民病院健全経営推進計画2027」に基づき、経常黒字化の早期達成に努め、公立病院として医療の質の更なる向上を目指し取り組んでまいります。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。